

科目 臨床特別講義 (Practical Study of Clinical Ex.)

担当教員 横田 浩充

【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

4年春学期までの、臨床検査課程の講義、臨地実習の経験を踏まえ、臨床検査技師国家試験に対応した実践的講義、模擬試験を行ない知識の定着を確認することを目的とする。これにより受講者全ての国家試験合格を目指す。

<教育目標>

(2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ
臨床検査技師国家試験の合格

<具体的な項目>

専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)
関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)

【2】 授業計画

臨床検査課程の講義、実習を踏まえ、臨床検査技師国家試験に対応した、実践的講義、模擬試験を行うため、9月の臨床検査技師課程秋期ガイダンスにて詳細を提示します。

【3】 到達目標

臨床検査技師国家試験に合格できる知識を身につける。

【4】 授業概要

各分野の専門の非常勤講師により、これまでの講義の復習、弱点補強を中心に、国家試験相当の問題を解説とその解法を学ぶ。具体的内容は、9月のガイダンスにて告知する。

【5】 準備学習 (予習・復習) および必要時間

講義の予習として、講義科目の臨床検査技師国家試験の過去問 (5年分) にチャレンジしておく。模擬試験においては解答・解説を配布するので誤った箇所を復習 (2時間) する。模擬試験の成績を向上させるべく、毎日、3時間以上の勉強を行うこと。

【6】 教科書・参考書・参考資料

講義資料を配布する。

模擬試験：医歯薬出版および日本臨床検査教育協議会編

参考書：臨床検査技師国家試験問題注解 (金原出版)、臨床検査技師国家試験問題集 (医歯薬出版) 等。

【7】 評価方法およびフィードバック

8回の模擬試験成績を総合評価する。適宜、模擬試験問題の解説行ない、重要箇所を指導する。

【8】 オフィスアワー

月、火、木の15時以降1402Aで受け付ける。

【9】 関連科目

[予め学んでおくとよい科目]

臨床検査技師国家試験科目全般

[この科目に続く内容の科目]

特になし

【10】 その他

なし